

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 保健医療学部

名 前 鈴木盛夫

作成日 2023年9月6日

### 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

保健医療学部全ての学科・専攻において、疾病とは何なのか、各疾患の病態とその診断・検査・治療方法について講義しています。全て必修科目です。

看護学科：病理学概論・疾病と治療総論・疾病と治療Ⅰ・疾病と治療Ⅱ・疾病と治療Ⅲ・疾病と治療Ⅳ  
リハビリテーション学科：医学概論・病理学・整形外科の一部

理学療法学専攻：内科学

また、保健医療学部全体にまたがる科目の一部を担当しています。

保健医療学部1年生：職業とキャリア形成(医師)、3年生：医療福祉専門職連携論(医師)

さらに、全学科・専攻の4年生に対して、国家試験に合格するために生理・解剖・病理・薬理・病態の復習に関する講義を担当しています。

看護学科：統合実習・国家試験対策講義、理学療法学専攻：国家試験対策講義、義肢装具学専攻：国家試験対策講義、健康栄養学科：管理栄養士総合演習の一部

### 2. 理念（教育に対する考え方）

人間総合科学大学は「現実社会をよりよく生きるための共感力・自己教育力・生涯学ぼうとする意欲」を身につける大学です。建学の理念で謳われている「自立と共生」を身につければ、自ずと「より良く生きる人生の知恵 Knowledge for Well-being」を学ぶことになると考えて教育を行っています。すると左手に生きる力を獲得させることが出来るので、右手に医療のライセンスを獲得させることもできます。

具体的に説明します。自立とは自己責任の概念を身につけることであり、自分勝手に生きることではありません。自立出来るということは、自分だけでは解決できない問題を社会と共生することによってみんなで解決していけるようになるということです。そのためにはコミュニケーション力が必要不可欠になるので、4年間の教育の中でコミュニケーション力を獲得させます。現代の医療はチーム医療であるので、獲得したコミュニケーション力は臨床現場で大いに役立ち、本学の卒業生から臨床現場のリーダーが出現することになります。医療従事者になれるということは生きる力を持っていることであり、当然医療のライセンスの取得は出来ることになります。

### 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

看護学科では1年生の前期から私の講義があり、リハビリテーション学科では1年生の後期から私の講義が始まります。その第1回目の講義から、医療従事者になるための学習方法を解説しています。

その方法は「LTD：Learning Through Discussion 議論を通じた学習」です。一般的に講義は一方向のコミュニケーションになってしまい、教員の言葉が全ての学生に理解されることはありません。一部の質問の上手い学生しか教員の講義内容を理解出来ません。ところがLTDをさせると、学生達は自分の理解を友人に説明することになり、それぞれが誤って理解していたところを修正して、多くの学生達に教員が言わんとしていたことが正しく伝わるようになります。

また、LTDというグループ学習を通して学生はコミュニケーション力を培うことになります。特に会話の内容は医学・医療についてなので、将来、臨床現場で患者さんやその家族に分かりやすく説明することが出来るようになり、医師・看護師・理学療法士・義肢装具士など医療従事者どおしが医学用語

で会話出来るようになるための、基礎力が培われます。

特に国家試験対策では、予備校のように「〇〇が出るから覚えなさい」という講義は一切行うことがありません。LTD で過去問題を研究させています。「なぜ看護師・理学療法士・義肢装具士・管理栄養士になるためにこの知識が必要なのか？どこまで知っているべきか？」について自分達で考えさせて議論させることにより、臨床現場で働く将来の自分をイメージさせながら、将来使える知識について学習させています。

低学年では、予習・復習しやすい環境作りと、LTD による毎日の学習習慣を獲得させることを目的にした教育方法を心掛けています。資料のプリントとワークブックを配布して、予習も復習も LTD で行うように説明しています。

LTD : Learning Through Discussion という学習方法は、記憶の三原則である記銘・想起・保存に適した学習方法であるため、学習効率が非常に良いという特徴もあります。LTD はグループ学習ですから、グループ全員で教員に質問することが出来ます。また友人が分かりやすい言葉で解説してくれた方が教員の難しい解説よりも理解しやすいということもあります。理解して「あっそういうことか！」と記銘したことはなかなか忘れません。さらに理解・記銘したことを再び友人に説明することが想起の訓練になります。学力の低い学生は試験前に想起の訓練をしていないことにより試験の成績が悪くなります。LTD ではその問題点を解決できます。友人に説明して想起の訓練をすればするほど、長期記憶に保存されることになります。つまり LTD は記銘・想起・保存によって学習効率が良いだけではなく、定期試験・国家試験・臨床現場で想起できる、最も理想的な医療従事者になるための学習方法であると言えます。

#### 4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

成果は①在学生について、②国家試験対策、③その他について述べます。

① 授業集計のアンケートでは、医学概論 4.3 点、看護総合演習Ⅱ 4.0 点など、非常に高い評価を得ています。自由筆記の主な感想としては「講義の内容が分かりやすい」「資料に図が多くて分かりやすい」「熱意が感じられる講義だった」「他の科目との関係が分かり良い復習にもなった」であり、特にリハビリテーション学科の医学概論では「実際に LTD をしたのでどのように学習したら良いかが分かった」という意見が複数ありました。

定期試験終了後に「振り返りノート」というアンケート調査をすることがあり、LTD をしたかどうかを尋ねる項目があります。LTD を行った学生群と行わなかった学生群の得点を比較すると、明らかに LTD を行ったグループの得点が高いことが分かります。また、その結果を学生にフィードバックすることにより、多くの学生が LTD をするように意識と行動が変容するという効果もありました。これらの経験が 4 年生の時にほぼ全員が LTD をして国家試験対策を乗り切ることに繋がっていると考えています。

② 看護学科では、国家試験直後に毎年アンケートをとっています。理学療法学専攻では過去に数回アンケートをとりました。「国家試験になぜ合格しましたか？」の質問に対して、95%以上の学生が「LTD をしたから合格した」と答えています。本学の 4 年生は全ての学科・専攻で、4 年生の初め頃は全国模試でほぼ最下位に近い成績です。LTD を行わせることで、学生達は自分の学力が伸びることを実感し、最終的に国家試験の合格率は全国平均を上回るようになります。私が奉職した 2009

年度から今までに、健康栄養学科と義肢装具学専攻で 3 回、看護学科で 1 回、国家試験合格率が 100%でした。理学療法学専攻でも 4 回は一人しか不合格にならず、全国平均合格率をほぼ毎年大きく上回っています。全学科・専攻の学習支援 WG 副委員長として、同じガイダンスを行い、その結果 4 年生の多くが LTD を行って国家試験に合格する、つまり「右手にライセンス、左手に生きる力」を獲得させています。

- ③ 最近では、入試の面接で「LTD をしたいので人間総合科学大学を志望しました」という学生がいるそうです。LTD はいつの間にか本学のパンフレットに紹介されていましたが、このような動機で本学を志望してくれるなら、大学に貢献していると思います。また、就職試験の面接で「大学時代に身につけたものは何ですか？」と問われて「LTD です」と答え、「それは何ですか？」とさらに問われて説明し、感心した面接官から褒められたというエピソードも聴きました。卒業生が職場の病院で同期の新人たちに声をかけて勉強会を開いたという話もききました。本学の卒業生からリーダーを育てたいという目標がかないつつあるエピソードだと思います。

## 5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

2009 年度に人間総合科学大学健康栄養学科に准教授として奉職した当時、良く教授たちからお礼を言われました。その理由を尋ねると「学生達が勉強している姿を見かけるようになりました」というものでした。私としては、高校時代まで勉強した経験が無い学生も入学することの出来る本学で、学生達が LTD で楽しく効率良く学習することが出来る大学になることを目指してきました。いつの間にか 15 年経ち、ライセンスの取得に関しては大いに貢献してきたと考えます。

しかし 2025 年度末に定年退職を迎える身としては、なるべく多くの教職員にこの教育方法を理解・実践して頂くことにより、今後も高い国家試験合格率を維持して、「自立と共生」が出来る卒業生を輩出し、「より良く生きる人生の知恵」を獲得することにより「右手にライセンス、左手に生きる力」を身につけさせる教育を、啓蒙していくことが、中短期目標であり、その達成時期はここ 2,3 年以内ということになります。

幸い、FDSO で講演させて頂く機会がありました。また、先輩と後輩が LTD を行うことを目標としたピアサポート制度の説明会をさせて頂く機会もありました。これらによって私の教育理念が、徐々に浸透していくと考えています。

### 【添付資料】

- ① 文中にあった、看護師国家試験終了直後のアンケート結果と、理学療法学専攻のアンケート結果については、毎年「研究費申請の際の研究成果」として提出しています。
- ② 授業集計アンケートのアンケート
- ③ 低学年は定期試験終了直後、4 年生は卒業見込認定試験・卒業認定試験直後に「振り返りノート」を行っています。手元にこれらのコピーが残されています。
- ④ 全ての講義で、資料を配付して、多くの講義でワークブックも配布しています。  
(上記の①③④は提出することができます。①と②は大学にもあります。)